

科目分類	助産学実践科目 実践・関連			開講時期	1年 通年	
授業科目	地域母子保健論					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	畑野 相子 ・ 益田 早苗					
メールアドレス	a-hatano@tsuruga-nu.ac.jp(畑野) masuda@tsu.ac.jp(益田)		オフィスアワー	事前にメール連絡してください		

到達目標	<p>1) 地域母子保健の目指すもの(理念・目的)と仕組み(母子保健施策)について説明できる。</p> <p>2) 母子保健統計及び母子保健活動に関わる法律が説明できる。</p> <p>3) 個人・家族・地域の育児力を高めるための地域母子保健の支援方法を説明できる。</p> <p>4) 地域母子の健康課題を把握し、保健計画を立案する方法を説明できる。</p> <p>5) 地域母子保健における助産師の役割について考えることができる。</p>
授業概要	<p>地域母子保健の目指すものとその仕組み、地域母子保健を推進する社会資源の活用、地域母子保健の展開について理解し、地域で生活する母子の健康問題に適切に対処できる基礎的能力を養う。</p>
授業内容	<p>第1～4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域母子保健の理念・目的 ・地域母子保健行政と制度 ・母子保健の現状と動向 ・母子保健に関する法律 <p style="text-align: right;">(畑野相子/4回)</p> <p>第5～8回 地域母子保健活動の実際、地域母子保健活動と助産師の役割</p> <p>【前期2回】</p> <p>① 「地域母子保健活動」</p> <p>地域母子保健活動の実際(市町村、保健所)、妊産婦訪問、新生児訪問、地域子育て支援活動、母子保健活動の連携(行政、民間組織との連携、)地域組織活動について</p> <p>② 「母子保健事業の展開：母子保健における包括的ケア」</p> <p>関係機関・職種との連携、それぞれの役割と連絡調整、地域母子保健における助産師の役割</p> <p>【後期2回】</p> <p>③ 「地域母子保健活動の事例」</p> <p>特定妊婦、ハイリスク妊産婦、低出生体重児、慢性疾患及び障害を持つ子ども、児童虐待</p> <p>④ 「外国人妊産婦および海外在住妊産婦の母子保健」</p> <p>外国人および海外在住の母子・家族の母子保健について</p> <p style="text-align: right;">(益田早苗/4回)</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：医学書院</p> <p>助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健</p>
成績評価基準・方法	筆記試験 100%

履修要件	なし
留意事項・ その他	助産学実習Ⅳと並行して学習していきます。この科目で学んだことを助産学実習で深めて下さい。